

【暮らす】 施策の柱 25							
① 予算事業名	男女特有のがん検診事業	予算科目	4-1-2-3	総合計画上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」		島民の健康づくり推進	
② 担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所		島民の健康づくり推進 施策の柱 25-1	
③ 事業内容	<p>毎年20歳以上の方で年齢が偶数の女性を対象として乳がん・子宮がん検診を実施。 (20歳~38歳は、エコー検査、40歳以上はマンモグラフィ検査を推奨)。 75歳以上及び生活保護者に対して全額を補助。</p> <p>前立腺がん検査については、毎年実施している集団健診・事業所健診に併せて実施する。</p>						
④ 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
⑤ 事業費 【単位：円】			28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
	財源内訳	(a) 国庫					
		(b) 県費					
		(c) 地方債等			3,523,000	3,523,000	3,523,000
		(d) 一般財源	3,290,000	1,970,000			
計(a~d)		3,290,000	1,970,000	3,523,000	3,523,000	3,523,000	
特定財源名		(a) または (b) の名称		(c) の名称		過疎債ソフト分事業	
⑥ 事業計画	年度		実施する具体的な事業の内容				
	平成30年度		<p>乳がん検査（対象者1,539名）予定受診者数460名 受診率30%。 子宮頸がん検査（対象者1,539名）予定受診者数385名 受診率25%。 前立腺がん検査（対象者1,878名）予定受診者数375名 受診率20%。</p>				
	平成31年度		<p>毎年20歳以上の方で年齢が偶数の女性を対象として実施。 (20歳~38歳は、エコー検査、40歳以上はマンモグラフィ検査を推奨)。 婦人検診及び前立腺がん検診ともに毎年1回実施(集団健診のみ)。</p>				
	平成32年度		<p>毎年20歳以上の方で年齢が偶数の女性を対象として実施。 (20歳~38歳は、エコー検査、40歳以上はマンモグラフィ検査を推奨)。 婦人検診及び前立腺がん検診ともに毎年1回実施(集団健診のみ)。</p>				
⑦ 成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (28年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年)
	乳がん・子宮がんによる死亡者数	目標	()	(6)	(5)	(4)	(0)
		実績	6				
	前立腺がんによる死亡者数	目標	()	(3)	(3)	(2)	(0)
		実績	3				
果・事業等 ・成果	<p>各がんで検診対象者及び受診者が異なるため、受診率を目標値にすることは適さない。 検診実施により予防及び早期発見の推進を図り、がんの死亡者数を減少させる。 婦人検診については、若年層の罹患者数を減らすためにも、自己負担額の検討が必要と思われる。</p>						
⑧ 写真及び図面	<p>・参考文献 「衛生統計年報(人口動態編)」沖縄県保健医療部</p> <p>※n年度=翌年度3月末に発刊のため基準値をH28実績とした。 ※当該検診以外の悪性新生物による死亡者数は含めない。</p>						